

4.各種外装仕上材の適否

◎：最も適している ○：適している △：使用に際して注意が必要 ×：不適

種類	仕上塗材								モルタル塗り	金属板張り	タイル張り	石張り
	薄付け仕上塗材		複層仕上塗材				厚付け仕上塗材					
	樹脂リシン	弾性リシン	アクリルタイル	エポキシ系タイル	弾性タイル	ポリマーセメントタイル	樹脂スタッコ					
工法の概要	●エマルジョン系の合成樹脂を結合材とした砂壁状の吹付材。 ●廉価で施工性がよく、実績が多い。 ●JIS名称:外装薄塗材E	●樹脂リシンの塗膜自体に柔軟性を付与しひび割れ追従性を向上させた吹付材。 ●接着性、耐候性がよい。 ●JIS名称:可とう形薄塗材E	●一般に下塗材、主材、仕上材等で構成されるいろいろなパターンに仕上げることができる。 ●主材が合成樹脂を結合材としており、防水性・耐汚染性・耐ひび割れ性に富みシボレックスに最適。 ●JIS名称:複層塗材E	●エポキシエマルジョンタイル(複層塗材RE)、エポキシタイル(複層塗材RS)、の2種類がある。 ●重量感、耐候性に優れる。 ●JIS名称:複層塗材RS、RE	●単層弾性タイルと複層弾性タイルの2種類ある。 ●いずれもゴム弾性を有し、ひび割れ追従性、防水性、耐久性に優れる。 ●JIS名称:防水形複層塗材E		●防水性・耐汚染性・耐ひび割れ性に優れている。 ●JIS名称:複層塗材CE	●厚付け塗膜による独特のデザイン性を有する。 ●従来のセメント系スタッコに比べ耐ひび割れ性がよくエフロの恐れも少ない。 ●JIS名称:外装厚塗材E	●ALCパネルの目地を消す目的で使用される。	●ホーロー鋼板、フッ素樹脂塗装鋼板等の金属板を胴縁を介して取り付ける工法。 ●断熱、美観に優れ耐候性に優れる。	●磁器質の50二丁以下の大きさのタイルを張る工法。	●大理石、大型陶石等の成形板を張る工法。
注意事項	●汚れが付着しやすい。 ●寒冷時(5℃以下)には施工を避ける。 ●下地処理としてフィラーを塗布する。	●下塗材、上吹材の組み合わせは同一メーカーの材料を用いる。 ●下地の不陸に注意する。	●下塗材、主材、仕上材各々の組み合わせは同一メーカーの材料を用いる。 ●寒冷時(5℃以下)には施工を避ける。	●下塗材、上吹材の組み合わせは同一メーカーの材料を用いる。 ●下地の不陸に注意する。	●透湿抵抗が高いため、寒冷地ではふくれ等を生じる恐れがある。		●下塗材、主材、仕上材各々の組み合わせは同一メーカーの材料を用いる。	●汚染防止のためにトップコートを使用する必要がある。	●ALCに比べてモルタルの強度、重量、乾燥収縮率が大きいいため、ひび割れ距離が生じやすい。	●風圧力(負圧)に応じてアンカーの種類・ピッチをチェックする必要がある。 ●施工がやや難しい。	●P.248タイル張りのポイントを参照。	●重量があり基本的にシボレックスには不向きである。 ●やむを得ず採用する場合は、下地胴縁を設け、パネルに直接取り付けない工法を採用する。
構成例												
外装への適否	縦壁 SDR構法 横壁 SDS構法 SDR構法	△ △ △	△ △ △	◎ ◎ ◎	× × ×	△ △ △	○ ○ ○	△ △ △	× × ×	△ △ △	○ △ △	× × ×
商品例	●アクリルダイヤ(恒和化学工業) ●SMコート(メーコー) ●シントーラフコート(神東塗料) ●スズカリシン(スズカファイン) ●シボカケン(エスケー化研) ●レジリシン(大日本塗料)	●SMダンコート(メーコー) ●ラフトン弾性リシン(スズカファイン)	●ダイヤEPタイル(恒和化学工業) ●トアクレイタイル(トウベ) ●ラフトンクレーター(スズカファイン) ●レナタイル(エスケー化研) ●ソフタイル(神東塗料) ●SMタイル(メーコー) ●DNTアクリルタイルベース(大日本塗料)		●SMダンタイル(メーコー) ●サータイト(ヤマウチ) ●レナフレンド(エスケー化研) ●シントーラバータイル(神東塗料) ●DNT弾性タイル#200(大日本塗料)		●ミラクマウント(エスケー化研)	●ウォールコートアクリルスタッコ(エービーシー商会)		●リバーウォール(ホーロー鋼板:川鉄金属工業) ●エスフロン(フッ素樹脂塗装鋼板:住友金属工業)	[タイル] ●50mm角モザイク ●50mm二丁モザイク	

仕上げと防水